

2013 年春季年会

年会プログラム

於 埼玉大学

2013 年 3 月 20 日 (水) ~ 3 月 23 日 (土)

日本天文学会

日本天文学会 2013 年春季年会プログラム

期 日 2013 年 3 月 20 日 (水) ~ 3 月 23 日 (土)

場 所 埼玉大学 (埼玉県さいたま市)

電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2013 年 3 月 19 日 (火) ~ 3 月 24 日 (日) >

月日	会場	10	11	12	13	14	15	16	17	18
3 月 20 日 (水)	A	受付					A. 宇宙天気	ASTRO-H 特別セッション (J会場)	天文教育 フォーラム (J会場)	理 事 会
	B						X. 銀河形成			
	C						P. 星・惑星			
	D						Y. 教育・他			
	E						T. 銀河団			
	F						W. 飛翔観			
	G						K. 超新星爆発			
	H						L. 太陽系/J. 高密度星			
	I						S. 銀河核			
3 月 21 日 (木)	A	受付	A. 宇宙天気	昼休み (代議員総会) (D会場)	ポスター		A. 宇宙天気	会員 全体集会 (J会場)	受賞記念講演 (J会場)	
	B		X. 銀河形成				B. 超巨大BH			
	C		P. 星・惑星				P. 星・惑星			
	D		Y. 教育・他				Q. 星間現象			
	E		R. 銀河				R. 銀河			
	F		W. 飛翔観				W. 飛翔観			
	G		V. 地上観				V. 地上観			
	H		J. 高密度星				J. 高密度星			
	I		S. 銀河核				S. 銀河核			
3 月 22 日 (金)	A	受付	A. 宇宙天気	昼休み	ポスター		N. 恒星	ALMA 特別セッション (K会場)		懇親会
	B		B. 超巨大BH				B. 超巨大BH			
	C		P. 星・惑星				P. 星・惑星			
	D		Q. 星間現象				Q. 星間現象			
	E		U. 宇宙論				U. 宇宙論			
	F		W. 飛翔観				W. 飛翔観			
	G		V. 地上観				V. 地上観			
	H		J. 高密度星				J. 高密度星			
	I		M. 太陽				M. 太陽			
3 月 23 日 (土)	A	受付	N. 恒星	昼休み	ポスター					
	B		B. 超巨大BH							
	C		P. 星・惑星							
	D		Q. 星間現象							
	E		U. 宇宙論							
	F									
	G		V. 地上観							
	H		J. 高密度星							
	I		M. 太陽							
J	ジュニアセッション (時間割は WWW ページをご参照ください)									
		10	11	12	13	14	15	16	17	18

A 会場: 総合研究棟 1F (シアター教室)

B 会場: 総合研究棟 2F (11 番講義室)

C 会場: 総合研究棟 2F (12 番講義室)

D 会場: 教育学部 A 棟 2F (210 号室)

E 会場: 教育学部 A 棟 2F (212 号室)

F 会場: 教育学部 A 棟 2F (213 号室)

G 会場: 教育学部 A 棟 2F (214 号室)

H 会場: 教育学部 A 棟 3F (324 号室)

I 会場: 教育学部 A 棟 3F (325 号室)

J 会場: 教育学部 C 棟 1F (C1 講義室)

K 会場: 全学講義棟 1 号館 3F (1-301 講義室)

受 付: 総合研究棟 1F ホール (A 会場前)

ポスター会場: 総合体育館 (体育室 1)

展示コーナー: ポスター会場

会 議 室 1: 総合研究棟 2F

会 議 室 2: 総合研究棟 2F

懇 親 会: 大会館 3F (大集会室)

◎講演数

講演数：合計 678

(口頭講演 (a)：459、ポスター講演 (b)：150、ポスター講演 (c)：69)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

2011年秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただく事になっています。

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し講演ありの場合、参加費は無料)		
講 演 登 録 費	3,000 円 (不課税)	10,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年 会 予 稿 集	2,000 円 (消費税込み)	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (総合研究棟 1F ホール)

○参加登録受付時間：3月20日 11:00～16:00

3月21日 09:30～16:00

3月22日 09:30～16:00

3月23日 09:30～13:00

※参加費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費の返金はいたしません。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は9会場で並行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3月20日の12:00から3月23日の14:00までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦180cm×横90cmです。
3. 講演には液晶プロジェクターをご使用ください。液晶プロジェクターは、セッション開始前にPCの接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中にPCを接続しておいてください。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
3月20日	15:00～16:30	J会場	ASTRO-H 特別セッション
	16:30～18:00	J会場	天文教育フォーラム
3月21日	16:00～17:00	J会場	会員全体集会
	17:00～18:30	J会場	受賞記念講演
3月22日	16:00～17:30	K会場	ALMA 特別セッション
	18:00～	大学会館 3F	懇親会
3月24日	13:30～17:00	埼玉大学 全学講義棟 1号館 301 講義室	公開講演会

◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	一般参加可否
3月20日	18:30～19:30	会議室 1	理事会	D
3月21日	12:00～13:00	D会場	代議員総会	D
3月22日	12:00～13:00	A会場	第43回天文夏の学校 座長団説明会	D
	12:00～13:00	B会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
	12:00～13:00	D会場	光学赤外線天文連絡会総会	C
	12:00～13:00	F会場	女性天文学研究者の会ランチミーティング	B
	12:00～13:00	I会場	宇宙電波懇談会会合	C
3月23日	12:00～13:00	A会場	天文・天体物理若手の会総会	C
	12:00～13:00	D会場	日本 SKA コンソーシアム会合	B
	12:00～13:00	I会場	太陽研究者連絡会	B

※一般参加可否の説明（オープン化の程度）

A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい

B: 興味を持った人には広く門戸を開いている

C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない

D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

◎ ASTRO-H 特別セッション： 2014 年度完成をめざして

日 時：2013 年 3 月 20 日（水）15：00～16：30

場 所：J 会場

概 要： ASTRO-H は、日本で 6 番目の国際 X 線天文台です。マイクロカロリメータによる超精密分光 ($E / \Delta E \sim 1000$) や 0.3～600 keV の 3 桁以上もの広帯域での高感度観測が可能となります。銀河団、超新星残骸、ブラックホール近傍などにおける高温ガスの運動や、非熱的な放射を高感度でとらえることで、宇宙の進化に対する理解が大きく進展すると期待されています。

ASTRO-H の製作は、2014 年度完成を目指し、国内外のメンバー、担当メーカーの努力によって順調に進んでいます。その性能を天文コミュニティーのみなさまに十分に理解していただき、様々な波長域の観測や理論との連携について議論を加速させることを目的に、特別セッションを企画しました。

プログラム： 1. ASTRO-H 計画の概要 高橋忠幸（宇宙科学研究所）
 2. ASTRO-H の目指すサイエンス 1. ブラックホール Andy Fabian（ケンブリッジ大学）
 3. ASTRO-H の目指すサイエンス 2. 銀河団と宇宙論 Richard Mushotzky（メリーランド大学）

世 話 人：嶺重 慎（京都大学）

◎ ALMA 特別セッション：ALMA の共同利用観測と最新科学成果

日 時：2013 年 3 月 22 日（金）16：00～17：30

場 所：K 会場

概 要： ALMA の第 2 回目の初期科学運用 (cycle 1) が始まりました。最初の初期科学運用 (cycle 0) や科学評価観測 (Science Verification) では、既に他のミリ波・サブミリ波望遠鏡を遥かに凌ぐ性能が実証されており、銀河系内の星形成領域周辺の観測、近傍銀河の観測、さらには遠方銀河の輝線観測の成果も続々と出ています。本特別セッションでは、ALMA の進捗状況および共同利用情報、さらに Cycle 0 や Science Verification で得られた最新の科学成果についてご紹介する予定であります。第 3 回プロポーザル募集の直前ですので、今回新たに加わった機能やユーザー支援体制について具体的にご紹介し、天文学会の皆様のプロポーザルのブラッシュアップに役立てていただきたいと思います。

プログラム： 1. ALMA 進捗状況
 2. 東アジア地域センター共同利用、Cycle 2 Capabilities
 3. ALMA 最新科学成果

世 話 人：伊王野大介（国立天文台）

◎天文教育フォーラム

テ ー マ : 天文学は社会をリードできるか? - 過去に学び、現在を把握し、未来を展望する

日 時 : 2013年3月20日(水) 16:30~18:00

場 所 : J会場

概 要 : 天文学は、自然科学としての伝統の中にありながらも、常に社会システムの一部として機能してきました。長い天文学の歴史を振り返れば、その関係は常に変化し続けています。過去の社会における天文学の役割と、現代の社会における天文学の役割では、共通する点もあれば、大きく異なる点もあるでしょう。天文学が急激に発展し、かつ、社会も大きな変化を遂げる現代において、天文学は社会に対してどのような価値を提案していけるのでしょうか。今回の天文教育フォーラムでは、過去における天文学と社会の関係に学びつつ、現在の状況を俯瞰し、未来に向けての展望を考えていきたいと思えます。

プログラム : 1. 「歴史のなかの天文学の役割」 (中村士 / 帝京平成大学)
2. 「現代社会における天文学の役割 (?)」 (嶺重慎 / 京都大学)
3. 「人は宇宙から活力をもらえるか?」 (岡村定矩 / 法政大学)

参 加 費 : 天文教育フォーラムのみの参加者は、年会参加費は不要です。天文学会年会受付で、その旨お伝えください。

実 行 委 員 : 高梨直紘 (東京大学)、松本直記 (慶應義塾高等学校)、篠原秀雄 (埼玉県立蕨高等学校)、安藤享平 (郡山市ふれあい科学館)

◎日本天文学会公開講演会

テ ー マ : 「埼玉発天空行 地上と宇宙をつなぐ天文学の歴史」

日 時 : 2013年3月24日(日) 13時半~17時 (開場: 13時)

場 所 : 埼玉大学 全学講義棟 1号館 301 講義室 (K会場)

対 象 : どなたでも参加できます。途中入退場可能です。

概 要 : 埼玉県には、理化学研究所や旧国立天文台堂平観測所など、長く日本の天文学を支えてきた研究施設があります。これらの研究施設や大学が積み上げてきた観測天文学研究の歴史や、現在の大型望遠鏡/衛星のプロジェクト、そこで明らかになってきたさまざまな宇宙の謎を紹介いたします。

一つ目の講演では、ロケット、人工衛星、宇宙ステーションなどに装置を乗せ、大気圏を抜けて宇宙空間から見えてきた、ブラックホールや超新星の残骸、中性子星の姿に、埼玉県和光市に本拠地をもつ理化学研究所が推進してきた研究のお話を交えて、理化学研究所でもご活躍されている東京大学の牧島一夫先生にご紹介いただきます。

二つ目の講演では、秩父地方にある堂平観測所 (現 堂平天文台 星と緑の創造センター) からハワイのすばる望遠鏡、そして次世代超大型望遠鏡 (TMT) へと日本における光赤外線天文学の進展、そこから見えてきた宇宙の描像と、今後についてのお話を、堂平観測所で研究を始められた広島大学の川端弘治先生にご講演いただきます。

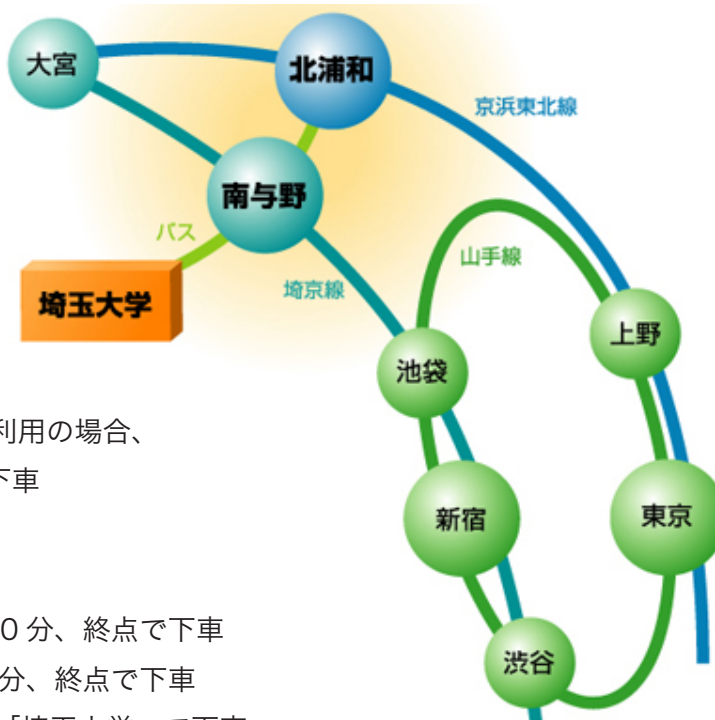
そして最後の講演では、南米アタカマ砂漠でサブミリ波観測を開始したアルマ電波望遠鏡による最新画像とともに、宇宙における古代史の謎について、埼玉県ご出身の東京大学の河野孝太郎先生にお話しいただきます。

埼玉から、世界各地そして宇宙から迫る最新の宇宙の姿について、ぜひお楽しみください。

内 容 : 講演 1 : 「宇宙空間から宇宙を見る」 牧島一夫 (東京大学 教授 / 理化学研究所 グループディレクター)
講演 2 : 「さいたまから、そしてハワイから宇宙を見る」 川端弘治 (広島大学 准教授)
講演 3 : 「南米アタカマから宇宙を見る」 河野孝太郎 (東京大学 教授)

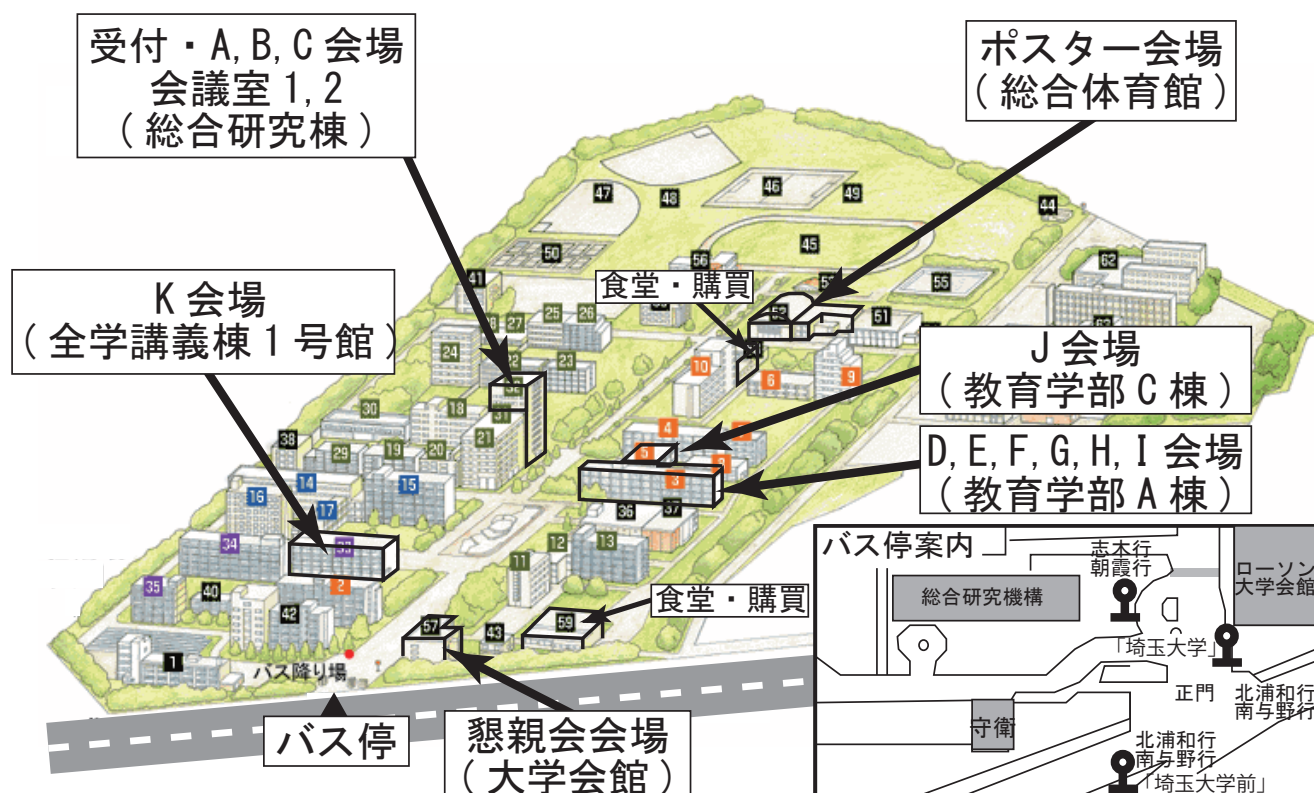
申 込 : 事前の参加申し込みは不要。参加費無料です。ただし、定員 400 名を超える場合には、入場制限をかける場合もあります。

春季年会会場 埼玉大学キャンパスのご案内



JR 京浜東北線 北浦和駅 (西口) を利用の場合、
「埼玉大学」行バス 15 分、終点で下車

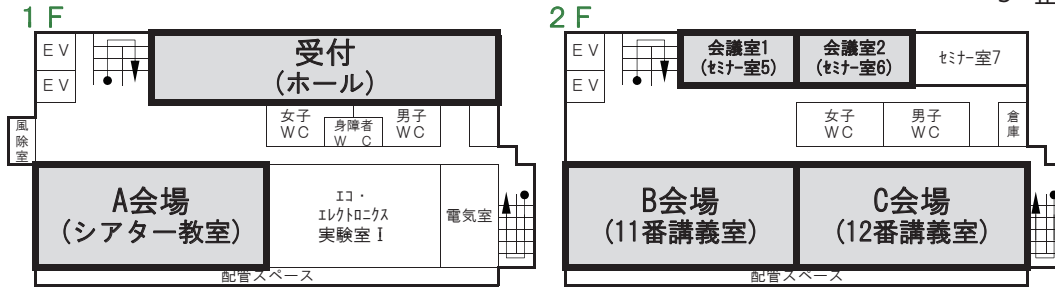
JR 埼京線 南与野駅 を利用の場合、
北入口バス停から「埼玉大学」行 10 分、終点で下車
西口バス停から「埼玉大学」行 10 分、終点で下車
「志木駅東口」「北朝霞駅」行 10 分「埼玉大学」で下車



埼玉大学：<http://www.saitama-u.ac.jp/access/accessmap.html>

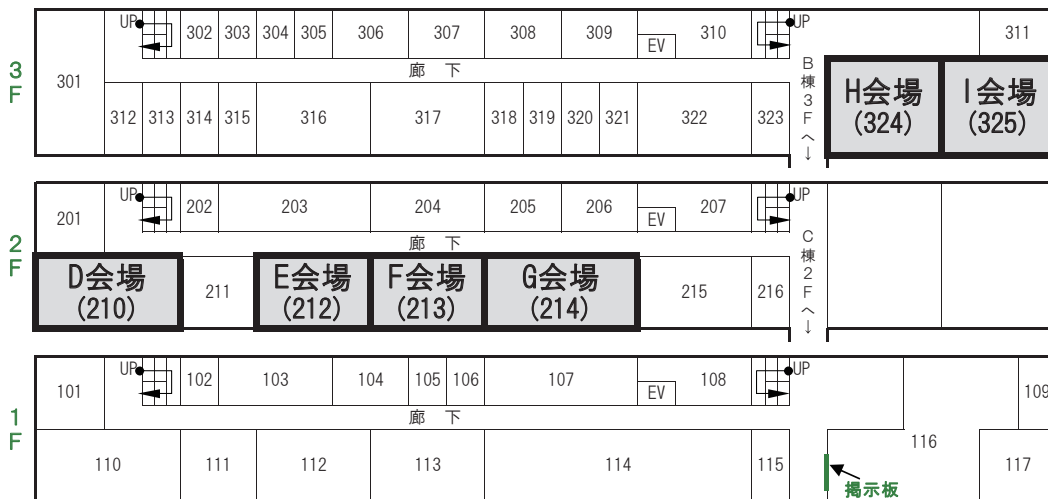
会場案内図

総合研究棟



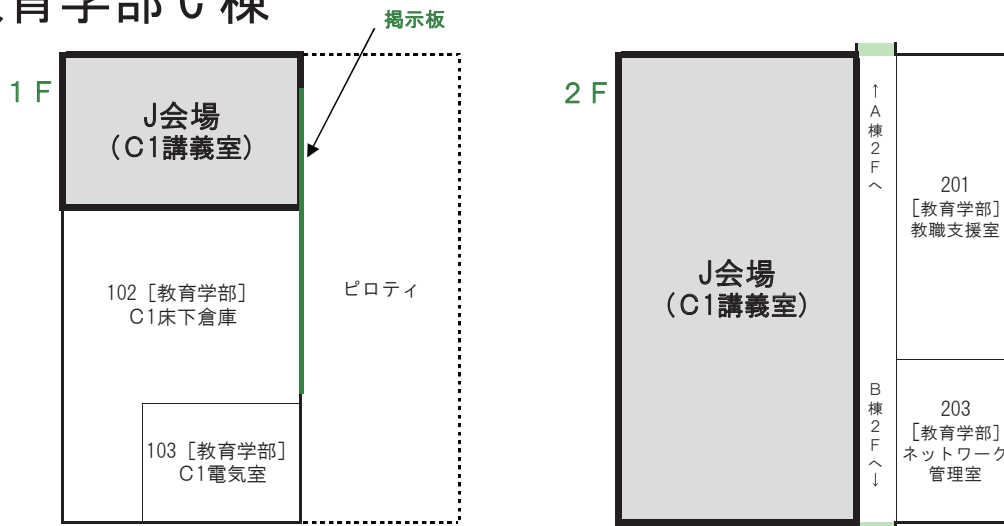
3F 以上には会場はありません

教育学部 A 棟



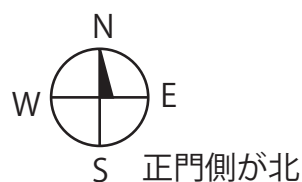
4F 以上には会場はありません

教育学部 C 棟



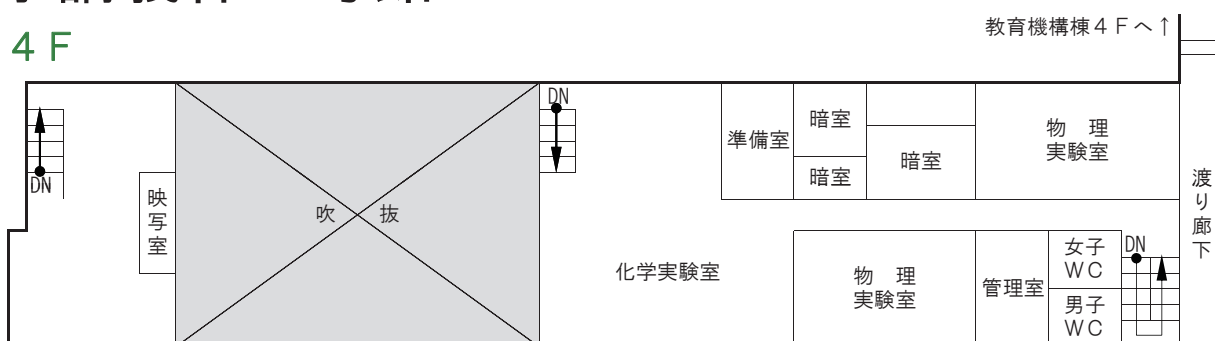
J 会場は 1F と 2F の両方に入口があります

会場案内図

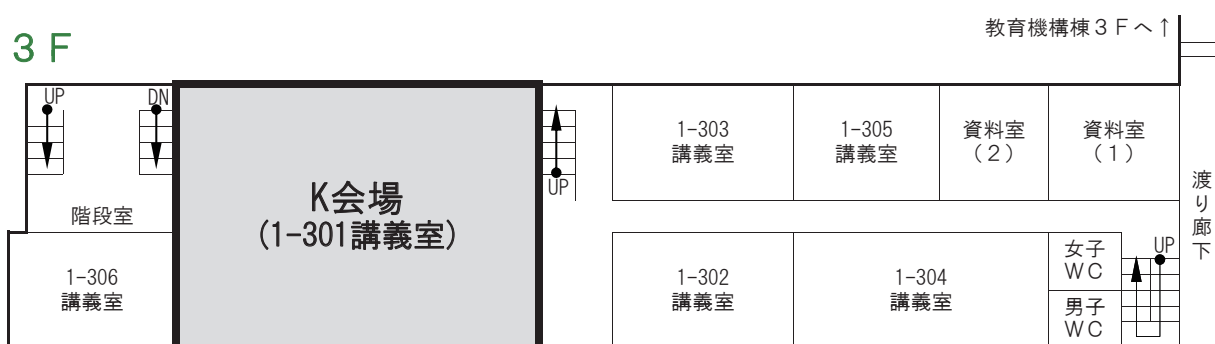


全学講義棟 1号館

4 F



3 F



総合体育館 (ポスター会場)

ポスター会場は土足禁止です。

入口に土足入れ用のビニール袋とスリッパを用意しますので、履き替えてご入場ください。

口頭セッション 3月20日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場
開始時刻	【宇宙天気】	【銀河形成】	【星・惑星】	【教育・他】	【銀河団】	【飛翔観】	【超新星爆発】	【太陽系/ 高密度星】	【銀河核】
13:00	A01r) A10b	X01a	P01a	Y01a	T01a	W01a	K01a	L01a	S01a
13:12		X02a	P02a	Y02a	T02a	W02a	K02b K03b K05b	L02a	S02a
13:24		X04a	P03a	Y03a	T03a	W03b W04b W05b	K06a	L03a	S03a
13:36		X05a	P04a	Y04a	T04a	W06a	K07a	L04a	S04a
13:48		X06a	P05a	Y06a	T05a	W07a	K08a	L05a	S05a
14:00		X07a	P06a	Y07a	T06a	W08a	K10a	L06a	S06a
14:12		X08a	P07a	Y08b Y10b Y11b	T07a	W09b W10b W11b	K11a	L07b L08b L09b	S07a
14:24		X09a	P08a	Y12a	T08a	W12a	K12a	J01a	S08a
14:36		X10b X11b X12b	P09a	Y13a	T09a	W13a	K13a	J02a	S09a
14:48		X13b X14b	P10a	Y15b	T10a	W14a	K14a	J04b J05b J06b	S10a
15:00	-	P11b P12b P13b	-	T11a	-	-	J10b	-	
15:12	-	-	-	-	T12b	-	-	-	
15:00	ASTRO-H 特別セッション (J会場)								
16:30	天文教育フォーラム (J会場)								
18:30	理事会 (会議室1)								

口頭セッション 3月21日(木)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場
開始時刻	【宇宙天気】	【銀河形成】	【星・惑星】	【教育・他】	【銀河】	【飛翔観】	【地上観】	【高密度星】	【銀河核】
10:00	A11r S A19b	X15a	P14a	Y16a	R01a	W19a	V01b V02b V03b	J13a	S11a
10:12		X16a	P15a	Y17a	R02a	W20a	V04a	J14a	S12a
10:24		X17a	P16a	Y18a	R06a	W21b W22b W23b	V05a	J15a	S13a
10:36		X18a	P17a	Y19a	R07a	W24a	V06a	J16a	S14b S15b S16b
10:48		X19a	P18a	Y20a	R08b R09b R10b	W25a	V07b V09b V10b	J17a	S17a
11:00		X20a	P22a	Y21a	R12a	W26a	V11a	J18a	S18a
11:12		X21a	P23a	Y22a	R13a	W27a	V12a	J19a	S19a
11:24		X22a	P24a	Y23b Y24b Y25b	R15b R16b R17b	W28a	V13b V14b V15b	J20a	S20a
11:36		X23a	-	Y27b Y30b Y31b	R18a	W29a	V16a	J21a	S21a
11:48		X24a	-	-	R19a	W30b W31b	V17a	J22a	S22a
12:00		X25a	-	-	-	-	V18b V19b	-	-
12:00	昼休み(代議員総会)(D会場)								
13:00	ポスター								
開始時刻	【宇宙天気】	【超巨大BH】	【星・惑星】	【星間現象】	【銀河】	【飛翔観】	【地上観】	【高密度星】	【銀河核】
14:00	A22r S A31a	B01r S B09a	P25a	Q01a	R21a	W32b W33b W34b	V21a	J23a	S24a
14:12			P26a	Q02a	R22a	W35a	V22a	J24a	S25a
14:24			P27a	Q03a	R23a	W36a	V23a	J25a	S26a
14:36			S	Q04a	R24a	W37b W38b W40b	V24a	J26a	S27a
14:48			P31b P32b P33b	Q05a	R27a	W41a	V25a	J27a	S28a
15:00			P34a	Q06a	R28a	W42a	V26a	J28b J29b J30b	S29a
15:12			A19b	Q07a	R29a	W43b W44b W45b	V27a	J32b J33b J34b	S30a
15:24			P36a	Q08a	R30a	W46a	V28a	J35a	S31b S32b
15:36			P37a	Q09b Q10b Q11b	R31a	W47a	V29a	J36a	-
15:48			P38a	-	R32a	W48b W49b	V30b V31b V32b	J37b J38b J39b	-
16:00			会員全体集会(J会場)						
17:00	受賞記念講演(J会場)								

口頭セッション 3月22日(金)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場
開始時刻	【宇宙天気】	【超巨大BH】	【星・惑星】	【星間現象】	【宇宙論】	【飛翔観】	【地上観】	【高密度星】	【太陽】
10:00	A32r ∩ A41a	B10r ∩ B17a	P39a	Q12a	U01a	W51a	V33a	J41a	M01a
10:12			P40a	Q13a	U02a	W52a	V34a	J42a	M02a
10:24			P41a	Q14a	U03a	W53a	V35a	J43a	M03a
10:36			P42a	Q15a	U04a	W54a	V36a	J44a	M04a
10:48			P43a	Q16a	U05a	W55a	V37b V38b V39b	J45a	M05a
11:00			P44a	Q17a	U06a	W56a	V40a	J46a	M06a
11:12			P45a	Q18b Q19b	U07a	W57a	V41a	J47a	M07a
11:24			P46a	-	U08b U09b U10b	W58b W59b W60b	V42b V43b V44b	J48a	M08b M09b M10b
11:36			P47a	-	U13a	W61b W62b W63b	V45b V46b V47b	J49a	M11b M12b M13b
11:48			P48a	-	U14a	W64b W65b	V48b V49b V50b	J50b J51b J52b	M14b M15b
12:00	-	-	P50b P51b P52b	-	U15a	-	V51b V52b V53b	J54b J55b J56b	-
12:12	-	-	P53b	-	U16b	-	-	-	-
12:00	昼休み								
13:00	ポスター								
開始時刻	【恒星】	【超巨大BH】	【星・惑星】	【星間現象】	【宇宙論】	【飛翔観】	【地上観】	【高密度星】	【太陽】
14:00	N01a	B19r ∩ B27b	P54a	Q22a	U18a	W66a	V55a	J59a	M20a
14:12	N02a		P55a	Q23a	U19a	W67a	V56a	J60a	M21a
14:24	N03a		P56a	Q24a	U20a	W68a	V57a	J61a	M22a
14:36	N04a		P57a	Q25a	U21a	W69a	V58a	J62a	M23a
14:48	N05b N08b N09b		P58a	Q26a	U22a	W70a	V59a	J63a	M24a
15:00	N10a		P59a	Q27a	U23a	W71a	V60a	J64a	M25a
15:12	N12a		P60a	Q28a	U24a	W72a	V61a	J65a	M26a
15:24	N13a		P61a	Q29a	U25a	W73a	V62a	J66a	M27a
15:36	N14a		P62a	Q30a	U26a	W74a	V63a	J67a	M28a
15:48	N15a		P63a	Q31a	-	-	V64a	J68a	M29a
16:00	N16b	-	-	Q32a	-	-	-	-	-
16:00	ALMA 特別セッション (K会場)								
16:00	懇親会 (大学会館 3F)								

口頭セッション 3月23日(土)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	【恒星】	【超巨大BH】	【星・惑星】	【星間現象】	【宇宙論】	【地上観】	【高密度星】	【太陽】	
10:00	N18a	B29a \ B38a	P64a	Q33a	U27a	V65a	J69a	M30a	ジュニアセッション
10:12	N19a		P65a	Q34a	U28a	V66a	J70a	M31a	
10:24	N20a		P66a	Q35a	U29a	V67a	J71a	M32a	
10:36	N21a		P67a	Q36a	U30a	V68a	J72a	M33a	
10:48	N22a		P68a	Q37a	U31a	V69a	J73a	M34a	
11:00	N23a		P69a	Q38a	U32a	V70a	J74a	M35a	
11:12	N24a		P70a	Q39a	U33a	V71a	J75a	M36a	
11:24	N25a		P71a	Q40a	-	V72a	J76a	M37a	
11:36	N26a		P72a	-	-	V73a	J77a	M38a	
11:48	-		P73a	-	-	V74a	J78a	M39a	
12:00	-	-	P74a	-	-	V75a	-		
12:00	昼休み								
13:00	ポスター								

ポスターセッション 3月21日(木) ~ 3月23日(土)

ポスター会場 (総合体育館)				
【宇宙天気】(10)				
A08b	A09b	A10b	A17c	A19b
A20c	A21c	A23c	A25c	A40c
【超巨大BH】(4)				
B18c	B27b	B28c	B34c	
【高密度星】(30)				
J03c	J04b	J05b	J06b	J07c
J08c	J09c	J10b	J11c	J12c
J28b	J29b	J30b	J31c	J32b
J33b	J34b	J37b	J38b	J39b
J40c	J50b	J51b	J52b	J53c
J54b	J55b	J56b	J57c	J58c
【超新星爆発】(5)				
K02b	K03b	K04c	K05b	K09c
【太陽系】(4)				
L07b	L08b	L09b	L10c	
【太陽】(12)				
M08b	M09b	M10b	M11b	M12b
M13b	M14b	M15b	M16c	M17c
M18c	M19c			
【恒星】(8)				
N05b	N06c	N07c	N08b	N09b
N11c	N16b	N17c		
【星・惑星形成】(17)				
P11b	P12b	P13b	P19c	P20c
P21c	P28b	P29b	P30b	P31b
P32b	P33b	P49c	P50b	P51b
P52b	P53b			
【星間現象】(7)				
Q09b	Q10b	Q11b	Q18b	Q19b
Q20c	Q21c			
【銀河】(15)				
R03c	R04c	R05c	R08b	R09b
R10b	R11c	R14c	R15b	R16b
R17b	R20c	R25c	R26c	R33c
【活動銀河核】(6)				
S14b	S15b	S16b	S23c	S31b
S32b				
【銀河団】(3)				
T12b	T13c	T14c		
【宇宙論】(7)				
U08b	U09b	U10b	U11c	U12c
U16b	U17c			

ポスターセッション 3月21日(木) ~ 3月23日(土)

【地上観測機器】(32)

V01b V02b V03b V07b V08c
 V09b V10b V13b V14b V15b
 V18b V19b V20c V30b V31b
 V32b V37b V38b V39b V42b
 V43b V44b V45b V46b V47b
 V48b V49b V50b V51b V52b
 V53b V54c

【飛翔体観測機器】(36)

W03b W04b W05b W09b W10b
 W11b W15c W16c W17c W18c
 W21b W22b W23b W30b W31b
 W32b W33b W34b W37b W38b
 W39c W40b W43b W44b W45b
 W48b W49b W50c W58b W59b
 W60b W61b W62b W63b W64b
 W65b

【銀河形成】(6)

X03c X10b X11b X12b X13b
 X14b

【天文教育・他】(17)

Y05c Y08b Y09c Y10b Y11b
 Y14c Y15b Y23b Y24b Y25b
 Y26c Y27b Y28c Y29c Y30b
 Y31b Y32c

【最新情報コーナー】

【展示コーナー】

(株) アド・サイエンス

Exelis VIS (株)

(株) 光学技研